

事務事業評価表

○基礎情報

課名		拠点整備課	作成責任者	常勤		その他			時間外勤務時間	
施策目標	52	地域特性に配慮した都市拠点を整備する	橋口 真澄	職員数	再任用フルタイム職員数	再任用短時間職員数	臨時職員数	非常勤嘱託職員数	総時間	一人あたりの月平均
				9				0.35	1,405	14.6

1 施策指標と実績

施策指標名	第2次実施計画 の現状値	目標値 (27年度)	実績値			
			24年度	25年度	26年度	27年度
辻堂駅西口周辺整備事業の整備進捗率	39.1%	49.8%	41.9%	41.9%	42.4%	42.5%
香川駅周辺整備事業の整備進捗率	3.5%	12.6%	9.2%	10.3%	14.1%	15.0%
浜見平地区拠点整備事業の整備進捗率	12.6%	38.8%	16.5%	21.3%	26.0%	29.7%
萩園地区産業系市街地整備事業の整備進捗率	2.3%	96.2%	5.8%	17.3%	25.6%	25.6%

評価の見方

- S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった  
A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった  
B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める  
D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない  
E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業  
実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成27年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事務区分	実績			従事者数	会計区分	H27予算 H27決算 (千円)	事務事業の指標名	H27目標値	H27実績値	評価	業棚選定
		何を・誰を(対象) どうする(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行政改革								
1	辻堂駅西口周辺整備事業	辻堂駅西口・工場跡地利用に係るまちづくり推進調査	自治事務	●			1.89	一般	4,074 ----- 4,074	辻堂駅西口周辺地区の整備検討	事業化の検討	当該地区の土地区画整理事業は順調に進捗している。また、26年度の街歩きで整理した課題について、解決策等の取りまとめを行うとともに勉強会を開催し、地域に対して提案を行った。	S	●
2	香川駅周辺整備事業	将来の相模線の利便性向上を見据え、段階的に駅周辺の交通基盤などの面的整備事業を進める。	自治事務	●			1.38	一般	41,958 ----- 27,967	事業の進捗状況	聖天橋の上部工護岸工	聖天橋架け替え事業に伴い、仮橋架設、旧橋撤去を行った。	A	
3	浜見平地区拠点整備事業	独立行政法人都市機構(UR)による浜見平団地の建て替えに合わせ、生活利便性や防災性の向上を目指している。	自治事務	●			2.58	一般	150,683 ----- 120,921	事業の進捗状況	複合施設供用開始	H27.4.1より複合施設を供用開始した。	S	

4	萩園地区産業系市街地整備事業	産業系への土地利用転換及び良好な生活環境の形成を図る。	自治事務	●		2.02	一般	193,323 ----- 0	事業の進捗状況	工事補助	土地区画整理組合が設立された。関係機関との協議及び地権者の合意形成を図るための支援を行った。	A	
5	土地区画整理事業	活力ある社会の形成と安全で豊かな生活を可能とするまちづくりを進める。	自治事務			0.23	一般	63 ----- 63	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付はないが、各種研修会等への参加や、情報交換等を行い、専門知識を取得すると共に1件の事業認可を行った。	B	
6	都市再開発事業に関する調査・研究事業	市街地再開発を促進し、防災性の高いまちづくりを目指す。	自治事務			0.05	一般	1,880 ----- 1,880	負担金の支出	負担金の支出	負担金を予定通り支出した。	B	
7	都市整備に関する調査・研究事業	市街地の基盤整備を推進し、防災性の高いまちづくりを目指す。	自治事務			0.09	一般	20 ----- 11	研修への参加	研修への参加	各種研修会に参加し、実務に反映した。	B	
8	災害応急対策活動	事業中の区画整理区域内の災害状況調査・応急対策の実施並びに災害応急対策の特命に対応する。	自治事務			0.11	一般	0 ----- 0	-	-	-	-	
9	庁内共通事務	-	自治事務			1.00	一般	155 ----- 155	-	-	-	-	
	合計					9.35	予算 決算	392,156 ----- 155,071					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>拠点整備課の第2次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き7事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、「S」が2事業であり、以下、「A」の2事業、「B」の3事業となっている。</p> <p>指標の達成状況に着目すると、80％指標を達成できた事業が5事業で、指標を達成できなかった事業は2事業であるが、達成できなかった事業には、指標に反映できない実質的な事業進捗があるため、概ね順調に事業が実施できたと考えている。</p> <p>事業の成果に着目すると、成果があがった事業が4事業、今後見込める事業が3事業である。成果があがった事業は、拠点整備課の主要事業であり、今後見込める事業は、その主要事業を補完する事業となっているため、拠点整備課の事業としては良好なバランスとなっている。</p> <p>一方、職員の時間外勤務に着目すると、総時間で1,405時間、一人当たりに換算すると月平均14.6時間であり、全庁的に見て平均より若干下回っている。拠点整備課の事業には、時間外の集会が多数開催されるため、その分については縮減できないが、他の事務について効率化を図り、時間外勤務を縮減できるよう努める。</p>	

4 新たな行政改革重点推進事業

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし		